

再評価結果（平成28年度事業継続箇所）

担当課：道路局 国道・防災課

担当課長名：川崎 茂信

事業名	一般国道158号 <small>えいへいじおおの</small> 永平寺大野道路	事業区分	一般国道	事業主体	国土交通省 近畿地方整備局																			
起終点	自：福井県大野市中津川 至：福井県福井市玄正島町	延長	26.4km																					
事業概要	<p>中部縦貫自動車道は、長野県松本市を起点に飛騨、奥越地方を通過し、福井県に至る約160kmの高規格幹線道路である。</p> <p>永平寺大野道路は、中部縦貫自動車道の一部を構成し、高速道路ネットワークの形成、災害時の代替路の確保、高度医療機関へのアクセス向上、文化・地域資源を活かした地域経済の活性化等を図ることを目的に計画された道路である。</p>																							
H2年度事業化	H4年度都市計画決定 (H-年度変更)	H5年度用地着手	H10年度工事着手																					
全体事業費	約1,491億円	事業進捗率	81%	供用済延長	21.1km																			
計画交通量	23,000台/日																							
費用対効果 分析結果	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%; border-right: 1px solid black;"> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%;">B/C</td> <td style="width: 70%;">(事業全体) 1.5</td> </tr> <tr> <td>(残事業)</td> <td>4.9</td> </tr> </table> </td> <td style="width: 50%; border-right: 1px solid black;"> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;">総費用</td> <td style="width: 50%;">(残事業)/(事業全体) 395/1,923億円</td> </tr> <tr> <td>事業費</td> <td>215/1,743億円</td> </tr> <tr> <td>維持管理費</td> <td>180/180億円</td> </tr> </table> </td> </tr> <tr> <td style="width: 50%;">総便益</td> <td style="width: 50%;">(残事業)/(事業全体) 1,942/2,873億円</td> </tr> <tr> <td>走行時間短縮便益</td> <td>1,624/2,386億円</td> </tr> <tr> <td>走行経費減少便益</td> <td>229/362億円</td> </tr> <tr> <td>交通事故減少便益</td> <td>89/125億円</td> </tr> </table>	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%;">B/C</td> <td style="width: 70%;">(事業全体) 1.5</td> </tr> <tr> <td>(残事業)</td> <td>4.9</td> </tr> </table>	B/C	(事業全体) 1.5	(残事業)	4.9	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;">総費用</td> <td style="width: 50%;">(残事業)/(事業全体) 395/1,923億円</td> </tr> <tr> <td>事業費</td> <td>215/1,743億円</td> </tr> <tr> <td>維持管理費</td> <td>180/180億円</td> </tr> </table>	総費用	(残事業)/(事業全体) 395/1,923億円	事業費	215/1,743億円	維持管理費	180/180億円	総便益	(残事業)/(事業全体) 1,942/2,873億円	走行時間短縮便益	1,624/2,386億円	走行経費減少便益	229/362億円	交通事故減少便益	89/125億円	基準年	平成27年	
<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%;">B/C</td> <td style="width: 70%;">(事業全体) 1.5</td> </tr> <tr> <td>(残事業)</td> <td>4.9</td> </tr> </table>	B/C	(事業全体) 1.5	(残事業)	4.9	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;">総費用</td> <td style="width: 50%;">(残事業)/(事業全体) 395/1,923億円</td> </tr> <tr> <td>事業費</td> <td>215/1,743億円</td> </tr> <tr> <td>維持管理費</td> <td>180/180億円</td> </tr> </table>	総費用	(残事業)/(事業全体) 395/1,923億円	事業費	215/1,743億円	維持管理費	180/180億円													
B/C	(事業全体) 1.5																							
(残事業)	4.9																							
総費用	(残事業)/(事業全体) 395/1,923億円																							
事業費	215/1,743億円																							
維持管理費	180/180億円																							
総便益	(残事業)/(事業全体) 1,942/2,873億円																							
走行時間短縮便益	1,624/2,386億円																							
走行経費減少便益	229/362億円																							
交通事故減少便益	89/125億円																							
感度分析の結果	<p>【事業全体】 交通量：B/C=1.2~1.8（交通量 ±10%） 【残事業】 交通量：B/C=4.1~5.9（交通量 ±10%）</p> <p>事業費：B/C=1.5~1.5（事業費 ±10%） 事業費：B/C=4.7~5.2（事業費 ±10%）</p> <p>事業期間：B/C=1.4~1.6（事業期間±20%） 事業期間：B/C=4.8~5.0（事業期間±20%）</p>																							
事業の効果等	<p>①高速道路ネットワークの形成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中部縦貫自動車道の整備により、東海北陸自動車道等を相互に連絡する高速道路ネットワークが形成され、福井市と首都圏のアクセス向上が期待される。 （福井市～首都圏：7時間30分→6時間45分） ・北陸・福井と中京圏を連絡する高速ルートが新たに形成され、物流搬送等の信頼性の向上が期待される。 <p>②災害時の代替路の確保</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国道158号の福井市～大野市間は、事前通行規制区間（連続降雨量140mm）が4箇所あるほか、災害等により全面通行止め（過去10年実績：11回・88日相当）が発生しており、整備により信頼性の高い交通路の確保が期待される。 <p>③高度医療機関へのアクセス向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第三次救急医療施設（福井県立病院）までの搬送時間が短縮される。 （勝山市～福井県立病院：39分→31分、大野市～福井県立病院：43分→34分） ・走行性の向上による患者の負担軽減、除雪・路面凍結対策、堆雪帯の確保等により冬季も含めた安定した救急搬送路の確保が期待される。 <p>④地域の活性化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・福井県の観光入込数上位10施設の内、3施設が永平寺大野道路の周辺の施設であり、沿線観光施設へのアクセス向上が見込まれる。 （H26入込み客数：大野まちなか観光89.3万人、恐竜博物館76.1万人、大本山永平寺47.3万人） <p>⑤日常活動圏の中心都市へのアクセス向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・勝山市～福井市：48分→34分 																							

関係する地方公共団体等の意見

地域から頂いた主な意見：

- ・ 中部縦貫自動車道建設促進福井県協議会（H1.8設立、福井県、福井市、大野市、勝山市、永平寺町）早期整備の要望を受けている。
- ・ 中部縦貫・北陸関東広域道路建設促進同盟会（H15.6設立、岐阜県、福井県、石川県、富山県、長野県、山梨県）早期整備の要望を受けている。
- ・ 福井県議会高規格道路建設促進議員連盟より、早期整備の要望を受けている。

福井県知事の意見：

一般国道158号永平寺大野道路の対応方針（原案）「事業継続」については異存ありません。永平寺大野道路については、平成28年度の日も早い全線開通を図られるよう、必要な予算の確保と迅速な工事の実施をお願いしたい。また、事業を進めるにあたり、コスト管理を厳正に行うとともに、建設発生土の利用等によるコスト縮減に最大限努めていただきたい。

事業評価監視委員会の意見

審議の結果、「一般国道158号永平寺大野道路」の再評価は、当委員会に提出された資料、説明の範囲において、おおむね適切に進められており、対応方針(原案)のとおり「事業継続」でよいと判断される。

事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等

平成27年度に隣接する「大野油坂道路（大野・大野東区間）」が事業化

事業の進捗状況、残事業の内容等

平成2年度に事業化、用地進捗率99%、事業進捗率81%（平成27年3月末時点）
平成26年度まで、21.1km 2車線開通済

事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等

平成28年度：全線2車線開通予定

施設の構造や工法の変更等

事業の実施にあたり、新技術・新工法の活用等によりコスト縮減に努める。

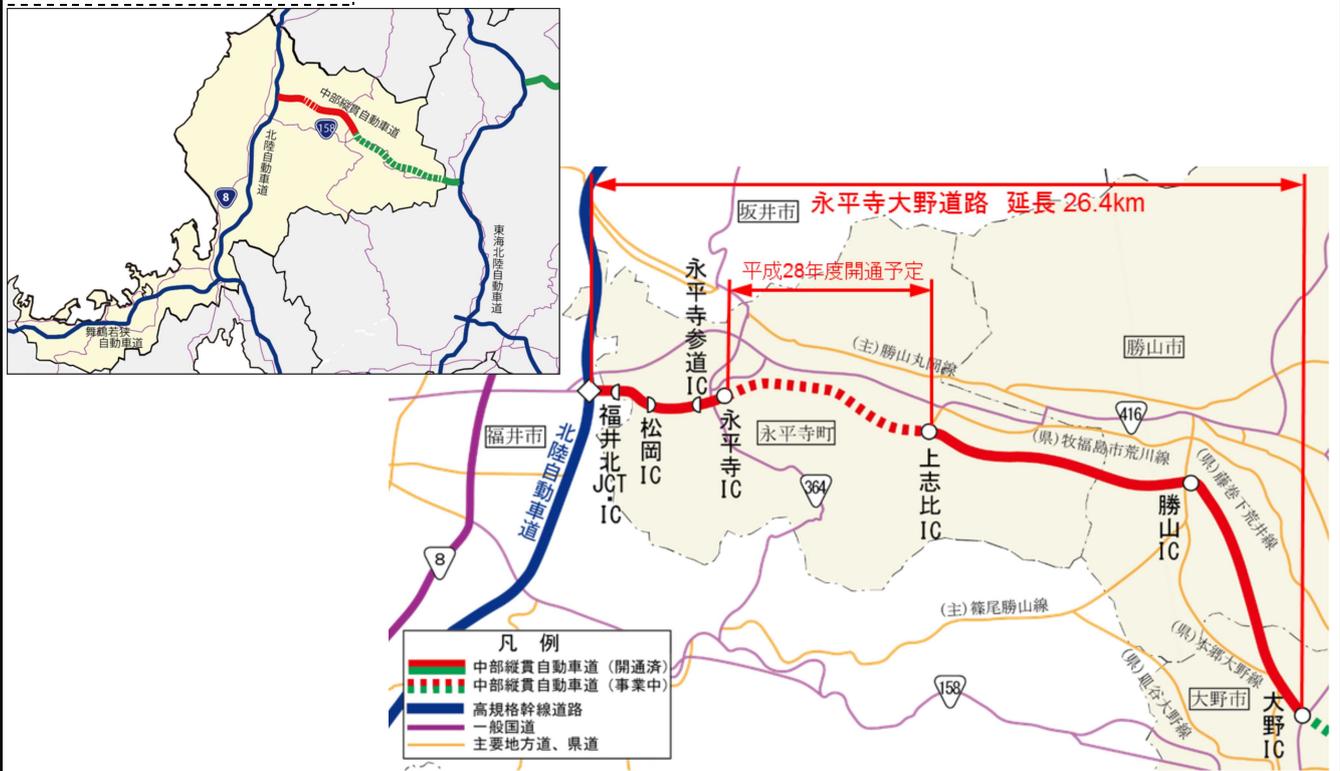
対応方針

事業継続

対応方針決定の理由

以上の状況を勘案すれば、事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。

事業概要図



※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。
 ※ 総費用及び総便益の値は、表示桁数の関係で内訳の合計と一致しないことがある。